

令和7年度第1回
東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会
資料評価部会（美術部会）

令和7年10月10日（金）
東京都江戸東京博物館会議室

午後 3 時55分開会

大石文化施設担当課長代理：では、定刻前ではございますが、皆様おそろいですので、始めさせていただきますと思います。

本日はお忙しい中御出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから、令和7年度第1回東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会資料評価部会（美術部会）を開催いたします。私は、東京都生活文化局文化振興部文化施設担当の課長代理をしています、大石と申します。本日司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

資料収蔵委員会には収集部会と評価部会がございます。収集部会は江戸東京博物館の収蔵品としてふさわしいか否かを付議する部会、また、評価部会は江戸東京博物館の収蔵品としての価格を個別の委員の方々に評価いただく部会でございます。本日の評価部会に先立ち、10月3日に収集部会を開催いたしまして、当部会でお諮りする案件につきましては、当館へ収蔵することが適切であるという御意見をいただいております。本日は、都民の財産となる貴重な資料にふさわしい適正な価格評価をよろしくお願いいたします。

続きまして、本日御出席いただいた委員の皆様を御紹介いたします。向かって左の席から順に御紹介させていただきます。

池田委員でございます。

日野原委員でございます。

廣海委員でございます。

吉田委員でございます。

なお、福土委員は事前に御欠席の旨、御連絡をいただいております。

続きまして、事務局職員を紹介いたします。

江戸東京博物館副館長の猪股でございます。

事業企画課長の新田でございます。

次に、お手元の資料の御確認をお願いいたします。一番上でございますのは「会議次第」、そして「委員名簿」、「江戸東京博物館収蔵委員会設置要綱」、「令和7年度第1回資料収蔵委員会資料評価部会（美術部会）説明資料」、それからA3の資料になりますが、「令和7年度第1回資料収蔵委員会資料（資料評価部会（美術部会）」、最後に「令和7年度第1回資料収蔵委員会評価票」になります。以上、お配りしておりますが、よろしいでしょうか。また、お手元の資料については現時点で未公開の情報がございましたので、会議終了後、回収させていただきます。

それでは、これから議事に入る前に当部会の公開について確認させていただきます。本日の議事は、評価対象資料の価格評価に関するものですので、「東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会設置要綱」第11に基づき、非公開といたします。

なお、当部会の議事録については、資料収集決定後、委員の皆様の個別の価格評価を除き、公開を予定しております。公開に当たって、委員の皆様には追って内容の確認をさせていただきます。また、委員の皆様のお名前と現職名は東京都のホームページ上で公開し

ております。

それでは、議事に入りたいと思います。江戸東京博物館事業企画課長の新田より、本日は皆様へ評価いただく資料の説明をいたします。よろしくお願いいたします。

新田事業企画課長：それでは、今回御評価いただく資料について御説明を申し上げます。A4の「令和7年度第1回資料収蔵委員会資料評価部会（美術部会）説明資料」を御覧ください。

資料は「浅草風俗図屏風」でございます。浅草周辺の景観を描いた紙本着色六曲一隻の屏風でございます。屏風全体を銀雲で3段に区切り、画面右上の隅田川の舟遊びから画面左下の浅草寺境内に至るまでの様子を描きます。落款・印章を欠き、描写からも絵師や流派を特定することは困難でございますが、参詣する人々や参道の様子を子細に描いており、当時の風俗を生き生きと伝える絵画資料でございます。

上段右から隅田川の舟遊び、両国橋、浅草御門、蔵前通り、続く中段右から駒形堂、並木町、下段右から雷門、仁王門、浅草寺本堂、熊谷稲荷と展開いたします。この景観選択や構図、描写内容は、大英博物館所蔵の「江戸風俗図巻」のうち「浅草図」と類似しており、両者は同一粉本から派生したものと考えられます。

大英所蔵の「浅草図」は、対となる「上野図」に享保5年に建立され翌年に焼失した寛永寺の仁王門が描かれていることから、その頃の景観を描いたものと推測されております。本資料の景観年代も同様に享保5～6年頃と推定されます。明和4年の大火で焼失する以前の浅草寺雷門の姿も確認することができます。老若男女、身分も様々な参詣者、傘や竹細工・玩具、本などの商店、魚屋、餅屋、そば屋といった飲食店や2階席のある料亭、人形操りやのぞきからくりをはじめとする見世物などが細やかに描写されており、当時の風俗を知る上で高い資料的な価値を有します。

2003年に国立科学博物館で開催された特別展「江戸大博覧会ーモノづくり日本」に出品され、本図に描かれるのぞきからくりが着目されました。都市江戸における庶民文化の繁栄を物語るとともに、西洋文化の導入を考える上でも有用な資料であり、当館の様々な事業に活用が見込まれます。

付議案件についての御説明は以上でございます。

大石文化施設担当課長代理：御質問、御意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、続いて評価方法について説明いたします。評価票に金額を記載し、署名していただきます。評価額の最高価格と最低価格を除いた残りの価格の平均値を委員会としての評価額とします。何か御質問、御意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これから資料の実見をお願いしたいと思います。係の者が御案内いたしますので、移動をお願いいたします。また、資料に関する個別の御質問につきましては、学芸員へお尋ねください。

（委員離席）

（資料実見）

(委員着席)

大石文化施設担当課長代理：それでは、議事を再開させていただきます。資料を御覧になりまして、何か御意見、御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お手元の評価票に価格評価と御署名をお願いいたします。お手元のペンで御記入してください。金額は消費税込みとなります。よろしくお願いいたします。

(評価票記入)

大石文化施設担当課長代理：御記入がお済みになった方は、係の者が確認いたしますので、お声がけください。確認が終わりましたら御退席いただいて結構です。本日はありがとうございました。

午後 4 時34分閉会

以上